

第15回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<フリートーク型>

| | |
|------|--------------------------------------|
| と き | 平成 26 年 2 月 5 日（水） 午前 10 時～11 時 30 分 |
| と ころ | 尼崎市立立花公民館 学習室 1、2 |
| 参加者等 | 参加者 10 人 市長ほか関係者 8 人 合計 18 人 |

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

2 市長から尼崎市政や総合計画の概要について説明

3 市民と市長との対話

<市民から出た話したいテーマ>

- ・ まちの美化（市民として協力できることはないか）…特に武庫之荘の南側
- ・ 自転車の交通事故（市が主導で自転車マナーの指導ができないか）
- ・ 自転車ロードと自転車置き場
- ・ 町名表示（表示板の老朽化と建物の建替等でなくなっている）
- ・ 文化発信について市はどう考えているか
- ・ 生涯学習としてのボランティア活動
- ・ 特定検診の推進
- ・ 市役所の透明性（いい仕事をするためには、職場環境から整えていくことが大切）
- ・ 市政 100 周年
- ・ 市民の意見を聞く場の拡大（現在、車座集会やまちづくり提案箱などがあるが匿名でも受け付けてほしい）
- ・ なりすまし防止と情報公開制度について

な ど

<テーマについて意見交換>

① まちの美化（武庫之荘駅前）

- ・ 武庫之荘駅前では、地域の方が清掃活動やゴミ拾いをしてくださっている。
- ・ 信号機はないが、事故もなく、設置要求もないことから、このままでいいと考えている。
- ・ 駅前のロータリーを公園や憩いの場にすればどうか。
→ バスや車が通る場所であり、広場に入るには車の間を横切って渡るという危険を伴うため実現はできない。
- ・ 駐輪場を使いやすくしてほしい。申し込みも日にちが限定されていて新規申し込みができない。
→ 駐輪場については、不足していると考えるので整備について計画中。**※参考 1**

② 自転車の交通事故

- ・ 自転車の事故が非常に多い
 - 自転車事故が増加していることについては、色々と指導・啓発をしているが難しい。
 - 学校に入り込んで、教育の場で指導していただくように取り組みたい。
- ・ 腕章を付けた指導員が自転車走行について指導すればいいのではないか。
- ・ 左側通行を分かっていない運転手が多い。右側通行を堂々としている。
 - 通行環境の整備については、今後も進めていく。
- ・ マナーの向上、左側通行などのルールは守るべきものである。

③ 町名表示

- ・ 民間スポンサーの利活用ができないか

④ 文化振興

- ・ 文化振興ビジョンが作られたのが平成7年であり、改善の時期となっている。
- ・ 現在は、JR尼崎駅周辺が発展しているが、昔は阪神尼崎周辺に寺町があったり、市役所があったりとまちの中心であった。
- ・ コンクールの実施をしてはどうか。(絵本コンクールを実施して待ちの活性化を図っているところがある。)
- ・ 手作り紙芝居で尼崎を紹介するなど、我々の活動を利用してもらいたい。
- ・ ピッコロシアターのリフォームを行ってはどうか。
 - ハードにお金を掛けるのは難しいがソフトによる発信を考えていく。
- ・ 路上ライブを推奨する都市があるが、尼崎でも実施すればいいのではないか。

⑤ 施設の名称、わかりやすさ

- ・ 地区会館と公民館など間違いやすい名称があるので、整理してほしい

⑥ 生涯学習としてのボランティア活動

- ・ 社会教育で生涯教育に取り組んでいるが、市全体として公民館の利活用も考える。
- ・ 「(仮称)まち大学あまがさき」の取組み(まち全体がキャンパス)を計画中である
- ・ 一例として、絵本読み聞かせの入門コースは公民館でも図書館でも実施しているが、中級コースや上級コースは、参加者任せになっている。また、団体としての交流会も以前はあったが今はないので、市が最後まで面倒見てもらえないだろうか。
- ・ 老人ホームに小学生が来ると喜ぶ。高齢者は、竹とんぼの作り方を教えたり、紙飛行機を一緒に作ったりしたい。しかし、バラバラに活動しているので、〇〇へ行けば教えてくれるというような場所を作ってほしい。
- ・ ボランティアは県では盛んだが、尼崎市では、社協やNPOなどによるものが主だから、市としての発信と、内容によっては市でリードを取りながら受け皿(土壌づくり・活動の支援)を作ってくれるようにならないか。

- ・ 60 歳代はお荷物ではなく貴重な財産なので、もっと活用してほしい。
職員が減っている尼崎市の現状を踏まえると、事業などを手伝いたいと考えているので、そんな人材を発掘すると共に活用してほしい。
- ・ 「市民が主人公」と市報にPRをすれば・・・
- ・ 小学生ぐらいの時から親と一緒に老人ホームに行ったり、ゴミ拾いを一緒にしたりすると身についていいんじゃないか。今、公園などを清掃しているのは大人ばかり。
子どもには掃除はいいから勉強しなさいと指示している。これはおかしい。

⑦特定健診

- ・ 様々な工夫をして受診を促しているが、国の受診率目標値が 60%とあるのに、尼崎市では低く、昨年より減少傾向にあると聞いている。これは、リピーターが少ないことと、毎年受けるという意識がないことが原因だと思う。
- ・ コンビニ検診は順調。今後は小さな事業所などへ出前検診をすることで受診率を上げたい。
- ・ 市民運動の中に、「安心・安全」はあるが、「健康」はない。
- ・ 各地域で受診率に差があるのも問題。

⑧市役所の透明性

- ・ 伊丹市役所を訪ねると、全て見渡せるオープンな窓口となっている。尼崎市役所は、ロッカーやついたてで中が見えない。
 - ・ 社員にいい仕事をさせるには、職場環境を整える必要がある。
 - ・ 職員も見られているという意識があれば、もっと仕事に集中するのではないか。
- 市民に見られても恥ずかしくない仕事を自然とできる仕事環境は大事である。

⑨100周年記念事業

- ・ アドバルーンを掲げる
- ・ 100 周年のロゴマークを子どもたちに書いてもらい、表彰や優秀な作品を選ぶのではなく、全て公表し、夢を託すなんてどうか。

な ど

※参考 1

阪急武庫之荘駅周辺の駐輪場整備については阪急電鉄と計画中であり、また、駐輪場が不足している市内の鉄道駅において民間駐輪場整備補助金制度を平成 26 年度に導入する予定である。

以 上